

2020 シーズンの大会等について、北海道学連の方向性（4月3日）

新型コロナウイルスの蔓延に伴い（公財）北海道サッカー協会は5月17日（日）までの道協会主催の試合や研修会および地区協会の試合や研修会の自粛を通知しました。

学生サッカー連盟としては以下の点を確認し、難局を乗り切りたいと考えております。

- ① 選手の安全・健康を考慮する
- ② 大会の公平性を考慮する
- ③ 柔軟な大会運営を考慮する
- ④ チームの財政的負担を最小限に抑えるように考慮する
- ⑤ そのほか協議が必要とされる事柄を速やかに検討する
- ⑥ 全日本学連、北海道サッカー協会と連携をとる

現在、学連事務局を中心に今2020シーズンのスケジュール、大会運営方法を検討しております。方向性が固まりましたのでお知らせいたします。ただし、状況の悪化には躊躇せず勇気を持って対応いたしますので、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

皆さんには新型コロナウイルスの終息に向けた個人レベルおよびチームレベルでの努力をお願いいたします。

大会について

- 1、6月1日に大会スケジュールの判断日とする（以降、変更の可能性あり）。
- 2、学生リーグ、総理大臣杯およびIリーグの全ての日程消化を目標とする。
- 3、学生リーグは1部・2部の降格は無しとし、2部・3部からの昇格は行う。2021年に再調整する。

予定案

総理大臣杯	7/4 開幕	7/19 決勝戦
学生リーグ	1部リーグ (7/4 開幕)、	2部リーグ (7/26 開幕)
	3部リーグ (7/25 開幕)	
Iリーグ	開幕日未定	

登録について

- 1、後日学連HPに掲載された必要書類をもとに、期日までに登録を完了する。
- 2、追加登録は北海道学連を通し行う。
- 3、個人登録金の納入が全日本学連で確認された通知を受けて公式戦出場となる。

協賛金について

- 1、2020年度は、1部・2部リーグチームに限り2万円を徴収する。

以上